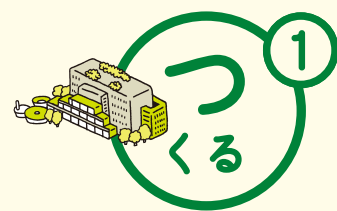


ネコロジー

環境にやさしい、物流をつくろう。



自然を大切にするために、つかう資源を減らして、できる限り再利用する。今までのエコロジーは、自然の資源を極力つかわないことが常識でした。しかし自然には、太陽光発電をはじめ、環境にやさしいエネルギーがあります。自然のために、自然をつかう。

天窓から太陽光を取り込み、照明代わりに。また太陽光発電で、CO₂削減に貢献します。他にも、木々の力“は、屋上緑化やウッドデッキで太陽の熱を遮断し、夏場の暑さを軽減。”雨の力“は、下水処理をサポートします。これらの自然の力により、従来型の施設と比較してCO₂排出量を約46%削減。年間で約1万4000トンの削減を見込んでいます。さらに、ゼロエミッション※1の推進や台車・新スリッター（リヤカー付き電動自転車）、電気自動車など、集配におけるCO₂排出量の削減にも取り組んでいます。ヤマトグループでは羽田クロノゲートや厚木ゲートウェイ※2など、自然の力をつかう物流施設を増やし

ヤマトグループ最新鋭の物流ターミナルは、自然を大切にするために、自然の力をつかいます。

て、今後も環境にやさしい物流をつくっていきます。

※1 ある産業から出るすべての廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることで、新しい資源循環型の産業社会の形成を目指す取り組み。
※2 2013年8月に竣工した、関東・中部・関西圏間の宅急便当日配達を実現するためのゲートウェイターミナル第1号。



羽田クロノゲート物流ターミナル外観



太陽による自然採光



太陽も、風も、働きます。
ヤマトにとっては自然の摂理です。

